

令和2年度 和歌山市立宮前小学校 学校運営計画書（スクールプラン）

校長名 三宅 秀夫

作成日 令和2年 5月14日

和歌山市学校教育目標

- 確かな学力の育成
- 道徳教育の充実
- 健やかな体の育成
- 特別支援教育の充実
- 不登校・いじめ問題の解消
- 子どもの安全確保の徹底
- 地域とともにある学校づくりの推進

保護者・地域の願い

- 子供の学力を定着させてほしい
- 仲良く明るく楽しい学校にしてほしい
- 相手の気持ちがわかる子供に育ててほしい
- 地域に誇りをもってほしい

【学校教育目標】

健・心・知の育成 健康な体の育成、
豊かな心の育成、確かな学力の育成

【めざす児童像】

- ・何事も意欲的に取り組み、自ら考え行動できる子供
- ・人権を尊重し主体的に行動する子供
- ・明るく調和のとれた健康な子供
- ・豊かな心で自然を愛し、情操豊かな子供

前年度の学校評価

- 授業改善が進んでいるが、基礎的学力の定着をさらに行う必要がある
- 学校の様子が保護者・地域等によくわかるようになってきた
- 家庭の生活力を高めていく啓発を行う

児童の実態

- あいさつができる
- 時間を守り、静かに集団行動できる
- 最後まで粘り強く取り組む力が弱い
- 家庭学習の定着率が低い

重点目標

確かな学力の向上

- ◎基礎・基本の確かな定着
- ◎子供主体の授業の推進
- 家庭学習の定着
- 読書活動の推進

豊かな心の育成

- ◎道徳・人権教育の充実
- ◎いじめの未然防止、早期発見
- 仲間づくりの実施

健やかな体の育成

- ◎体力向上の推進
- ◎基本的生活習慣の確立
- 危機回避能力の育成

地域とともにある学校

- ◎家庭・地域との連携充実
- ◎幼小の接続、中学校区における学校間連携の推進
- 地域の資源活用の推進

具体的な取組

- 学びのルールと粘り強く考える学習習慣の定着を図り、主体的で対話的な深まりのある授業を目指す
- 「和歌山の授業づくり基礎・基本3か条」を徹底させた授業を行う
- 発達の段階に応じた家庭学習の手引きを作成し活用するとともに、保護者と協力しながら定着を図る
- 読み聞かせ、家庭読書、親子読書を推進する

- 道徳科の授業展開を工夫・改善し、体験活動を充実させ、道徳性を養う
- いじめアンケートを年間に複数回実施し、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努める
- 情報モラルやネット社会に潜む危険性について、保護者とともに学ぶ機会をもつ
- 児童会での縦割り班活動、学年集会、学級会等で、子供同士が関わりつながり合う機会を増やす

- 朝学校に登校する意欲維持や体力の向上を図るために、年間を通して、朝の運動を実施する
- 「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨する
- 避難訓練や交通安全教室を計画的に行い、危機回避能力を育成する

- 各種便り、HP等を通して積極的に学校の情報を発信するとともに、授業や行事等を積極的に公開する
- 地域活動へ参加し、積極的な交流を推進し、多様な生き方を学ぶ
- 幼小の接続、中学校区での小中の連携を推進・充実する
- 授業のゲストティーチャー、読み聞かせボランティア、クラブ講師等の人材や、地域の自然・文化を積極的に活用する

指標

- ・県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る
- ・わかる授業、子供主体の授業を実践したと思う（児童・教師90%）

- ・学校が楽しいと感じる（児童90%）
- ・人権学習や平和学習等への教材も含め「希望へのかけはし」の活用100%
- ・いじめの解消率100%

- ・朝ごはんを食べた（児童100%）
- ・早寝・早起きを意識して取り組んだ（児童90%）
- ・積極的に運動を行うよう計画し、実践した（教師90%）

- ・学校の様子がよく伝わった（保護者90%）
- ・幼小や中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた（教師90%）

◎：特に重点的に取り組むこと